



◆ 「都草 第7回通常総会を終えて」



筒井紘一先生

平成 19 年 4 月 29 日に「京都観光文化を考える会・都草」の設立総会が開催されてから早くも 6 年の歳月が流れました。当初 50 人ほどであった会員数が現在では 350 人に達し、京都の NPO 法人として大きな組織に成長しました。これは会員の皆様をはじめ役員が一体となって、愛する「京都」をキーワードに活動してきた結果に他なりません。「都草さんはどういった団体ですか」とよく聞かれます。説明がむずかしいので大体「京都おたくの集まりです」と答えることにしています。

さて、先日 5 月 28 日にひとまち交流館京都において、第 7 会通常総会が開催されました。第 1 部として、今回は茶道資料館副館長・今日庵文庫長・京都造形芸術大学教授の筒井 紘一 先生に「新島八重と茶の湯」という題でご講演いただきました。第 2 部の総会は小松理事の司会ではじまり、始めに中江理事が議長に選出されました。出席者 83 名、委任状 170 名との報告があり本総会が成立していることが確認された後、議案の審議に入りました。議案は第 1 号から第 7 号議案までで、それぞれの担当理事が説明を行い、全ての議案が採決の結果承認されました。会員からは意見が多く出され、活気のある有意義な総会となりました。皆様どうも有難うございました。
(理事長 坂本孝志)



新任役員紹介

月・水曜日に事務局を担当しております岸本です。私自身 3 年目を迎えた今期は皆さまか



らのご提案やご意見を都草の活動に取り入れて、お役に立てればと願っております。主な業務担当は研究発表会・勉強会・広報部会・文化交流会などです。今後ともよろしくお願い申し上げます。(理事 岸本幸子)

このたび理事を拝命致しました高橋です。これまでの歴史探訪部会・京都検定対策委員会・広報部会の活動とともに、ガイド部会と財務関係業務を担当します。趣味は絵画と囲碁です。以後(^^) よろしくご指導のほどお願い申し上げます。(理事 高橋明俊)

今年度から理事に就任しました鹿田です。都草創立当時から参加させていただき、主に美化活動部会で活動しております。'07 の吉祥院天満宮から最近の千本釈迦堂まで合計 74 回行いました。今後とも皆様方の応援をよろしく願いいたします。私個人としては毎日 15000 歩をクリアすることを目的に歩いています。
(理事 鹿田晴彦)

私は会員番号 65 番の福井と申します。監事としては理事会での議決権はありませんが、外からの客観的な目で都草を見て物申していきたいと思えます。「会員の、会員による、会員ののための都草」に向かって微力ながら尽力する所存です。皆様何卒よろしくお願い申し上げます。(監事 福井大作)

◆◆ 会員の紹介 ◆◆



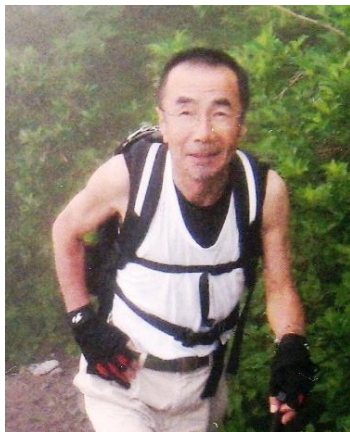
「平成女鉾清音会（さやねかい）、祇園祭参加を目標にして」

会員No.61 奥野淳子（おくのあつこ）です。私は都草設立の平成 19 年から都草に参加しています。入会したきっかけは、私も参加した「京都検定を歩こう」という行事で坂本理事長と偶然ご一緒したことからです。その際都草のことをお聞きして入会を決めました。仕事があるため平日昼間の研究会等の参加ができないため、都草での活動は現在に至るまで年間数回程度と少なめです。

平成 8 年に、祇園祭初の女性だけの囃子方を持つ「平成女鉾」が発足し、現在は「平成女鉾清音会」として約 60 名の囃子方女性会員が祇園祭参加を目標に活動しています。私は鉾方として頑張っています。平成 24 年秋の京都府庁旧本館一般公開時に、平成女鉾清音会が祇園囃子を披露したのは初めてです。都草事務所のすぐそばでの活動でしたので、坂本理事長をはじめ、都草会員の皆様には大変お世話になりました。

平成女鉾清音会では八坂神社のご祭神の一柱であるクシイナダヒメノミコトをお祀りし、平成 15 年より祇園祭期間中に八坂神社で囃子を奉納しています。毎年 3 月に開催される「東山花灯路」では、今年で 4 回目となる八坂神社での奉納囃子と、3 回目となる花灯路界限での道中囃子も行っています。平成女鉾清音会の活動のみならず、今後とも都草の例会等にもボチボチ参加したいと思います。よろしく願います。（会員 奥野淳子）

「いらっしゃい八幡の町へ！！」



大阪育ちの私が八幡に住んで早や 40 年余り。現役時代はほとんど地域との関わりを持たず過した私でしたが、退職後少しでもこの町の役に立てたらと思い、平成 22 年に「やわた観光ガイド協会」に入会しました。入会して驚いたのはいかに自分が住むこの町を知らなかったかと言うことです。「こんな所にこんな美しく大きな大きな仏様が！」「エ～なにこれ、お地藏様が高御座に居てはる！」「へエ～この場所にはこんな歴史があったのか！」など、毎日が驚きの連続でした。

平成 12 年に発足した「やわた観光ガイド協会」が今年初めて修学旅行生のガイドを行いました。私は立川市の高校生 9 人の女子生徒を担当しました。それにしても若い子はよく笑う。石清水八幡宮のガイドでは「八幡宮が何故この地にあるのか？その歴史は？」エジソンと八幡の竹の話では「99%の努力と 1%のひら

めき。この 1%が難しい」などと案内。樹齢 700 年という大きな大きな楠の下では「体一杯靈気を浴びてパワーをもらってね。」等々。普段は同年輩の人達をご案内する機会が多い私には新鮮で楽しいひとときでした。

隣り町の樟葉や京田辺市がどんどん開けていく中、京阪電車も昼間急行が停車しなくなるなど、取り残された感じの我が町八幡ですが、訪ねて来られた人々には精一杯の温かいおもてなしの心でお迎えしたいと思います。

「いらっしゃい八幡の町へ！！」（会員 豊田佳之）

シンポジウム「京都御苑の魅力 ～その歴史と自然～」開催のお知らせ

平成 25 年 8 月 25（日）、NPO 法人都草主催による上記シンポジウムを、京都平安ホテルにて行います。講演は臈谷壽先生と高木博志先生、パネルディスカッションには、井上満郎先生、市田ひろみ先生、中西甚五郎先生（環境省）をお招きする予定です。

開催にあたっては、会員の皆様のご協力とご参加を宜しくお願い申し上げます。